

平成25年度 能代市バスケの街づくり市民チャレンジ事業 認定事業一覧

申込者	①個人	②個人	③NBLM準備会
事業名	バスケの勉強会「世界に挑戦！」	「バスケ版ウォーク・オブ・フェーム」製作の型どり試作品作り	能代FM高校生プロジェクト
事業内容	「バスケの街能代」を「知」によって日本一の街にすべく取り組みを行う。 バスケットボールにおいて先進的な取り組みを行っている若者に実技指導ならびに講義の機会を与える。	アメリカにある「ハリウッド・ウォーク・オブ・フェーム」のバスケ版を製作し、能代の観光名所にしようという事業。 昨年に引き続き、今年も準備段階として製作過程の試作研究を行う。	バスケミュージアムに設置中のFM榊台サテライトスタジオとnoshiro.FM（ミニFM+インターネット配信）から、高校生による番組生放送を行っていただく。各回市内からのゲストとのトークを交える。市内5高校による持ち回りで毎週1回ずつ生放送を行う。毎週の聴取者100名、スタジオ前集客20名を目指す。
無償スタッフ活動時間	175時間	200時間	150時間
補助申込金額	100千円	93千円	100千円
審査会の主な意見、改善の提案等	<ul style="list-style-type: none"> ・理念や事業の枠組みは良くできており、実績もあるので、今後の活動にも期待が持てる。 ・少し崩して誰でも聴けるようにし、そこから本質に引き込むことができれば、もっと期待できると思った。バスケにとらわれず参加し、関わる人を増やすことが望まれる。 ・内容については、試行錯誤があるかもしれないが、バスケの街づくりにもっと貢献してもらいたいので、ぜひがんばっていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実現までの見通しやかかる予算の見当がつかないので、判断が難しい。もう少し計画性があった方がいいと思う。 ・試作であっても、実際に反応を見てもらうなどしないと、成果が測れない。バスケロードフェスティバルのようなイベント等の企画に合わせ、実際に街なかに飾ってみる、といったことが必要である。 ・昨年度と比較してチャレンジの部分がないように感じる。実現できれば1つのインパクトになり得る取組だとは思っているので、その部分では応援したいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生の参加は、とても魅力的であり、その感覚を味わえる番組になればと思う。街の人にも応援してもらえと思う。 ・新たな人々を巻き込むという点で、非常に面白い試みだと感じた。実現可能性については、やや疑問が残るので、うまく調整していただきたい。 ・バスケを通じて、バスケ以外の情報も発信できる。今後、いろいろなものに発展していく可能性がある。SNS等と連動して、多くの人に広がる取組であってほしい。

申込者	④能代バスケットロードフェスティバル実行委員会		
事業名	能代バスケットロードフェスティバル2013		
事業内容	10月初週、能代市内の施設および協力店舗にバスケット由来のポスター・パネル・グッズを展示し、お客様に回遊・閲覧していただく。ポイント制のプログラムとし、最終日にフィナーレイベントおよびプレゼント抽選会を行う。		
無償スタッフ活動時間	150時間		
補助申込金額	100千円		
審査会の主な意見、改善の提案等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目を踏まえ2回目の開催の仕方を変えており、継続するための工夫が見られる。能代逸品会や商店街等との連携を模索しており、ぜひ継続できるように連携していただきたい。 ・ 市民など内部的な盛り上がり醸成することで、外部の興味や関心につながるような流れになればいいと思う。集客に関しては、もう一工夫必要だと思う。 ・ イベントなどをうまく組み合わせることができれば、連携しやすくなると思うので、そこを突破口に発展できればいいと思う。 		